

著者紹介

門脇 仁 (かどわき ひとし)

1961年浦和市生まれ。慶應義塾大学卒。「国連持続可能な開発委員会」の理念にもとづく国際援助専門誌を経て、1994年に渡仏。日仏の森林生態系と林業についての比較研究で、フランス国立ヴァンセンヌ・サン＝ドニ大学（パリ第8大学）大学院人間生態学研究科上級研究課程を修了。在仏中、フランス環境ジャーナリスト・作家連盟（JNE）加盟。帰国後、環境省所轄の公益法人を経て独立。現在までエコロジー、生態学史、ネイチャーライティングなどの著述、翻訳（英・仏）、講義・講演多数。

E-mail : hitoshi.kadowaki3@gmail.com

著書：『エコカルチャーから見た世界——思考・伝統・アートで読み解く』（ミネルヴァ書房）、『最新環境問題の基本がわかる本——地球との共生と持続可能な発展』（秀和システム）他。

訳書：『樹盗——森は誰のものか』（築地書館）、『エコロジーの歴史』『終りなき狂牛病——フランスからの警鐘』（ともに緑風出版）、『環境の歴史——ヨーロッパ、原初から現代まで』（共訳、みすず書房）他。

論文：《Conservation de l'Ecosystème Forestière : Etude Comparative des Systèmes Sylvicoles Français et Japonais（森林生態系の保全：林業システムの日仏比較研究）》他。

講義・講演：「環境学」（東京理科大学理学部第1部教養科目）、「外書講読」（法政大学キャリアデザイン学部ライフキャリア領域）、「フランスの環境文学」（立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科公開講座「環境と文学のあいだ」）他。